

- 1 派遣期日 平成 27 年 11 月 13 日（金）～11 月 13 日（金）
- 2 研修先 学校名（会場名） 千葉県成田市立成田中学校
所在地 〒286-0021 千葉県成田市土屋 9 2 8 - 1
jh-narita@city.narita.chiba.jp

3 研修内容

研修内容 「発信力を高めるための 4 技能の総合的な指導の工夫」
～ 英作文の授業とテストのあり方 ～

（1）研修選定の理由

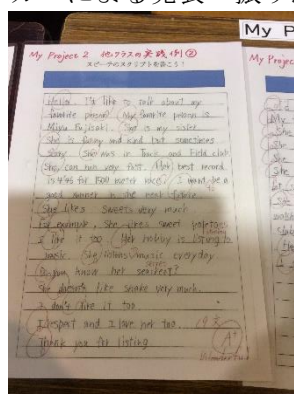
第 39 回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会千葉大会の研究主題を「国際社会に生きる日本人に求められるコミュニケーション力の育成～小・中・高等学校を通じて発信力を高める指導の工夫～」と知り、授業において日々課題としている「発信力」を高める手立てや千葉県が県を挙げて取り組む英語教育を学ぶことができると思い本研修に決定した。

（2）第 39 回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会千葉大会

- 全体会 記念講演「外国語教育の現状と課題～中学校の果たす役割とは～」
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 平木 裕 氏
 - ・中学校の果たす役割：授業を英語で行うことを基本とし、身近な話題について互いの考えや気持ちを伝え合う能力を高める場。小学校から高等学校への単なる架け橋ではない。
 - ・生徒の 4 技能を育てるためには、聞く・話す・読む・書くがバランスの重要性。
- 県内提案 「4 技能を総合的に育成する指導の充実」 君津支会
千葉県木更津市立金田中学校 教諭 池田 秀一先生
 - ・「単元計画」の作成、スモールステップによる課題設定
 - ・ペア、グループワーク＋発表活動＋家庭学習（英作文・発表の練習・文法の補充）をアクティブラーニング（自発的・主体的取り組み）につなげる。
 - ・「習得」と「活用」が一体となった学習活動を連続して行い、学習内容の確実な定着と運用力の向上を目指す。
- 公開授業 授業者 成田市立成田中学校 野原 智先生 小野田 久美子先生
指導助言 千葉県教育庁北総教育事務局 指導主事 前林 典子先生
単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 My Project 2 「人を紹介しよう」
授業の展開
 - ① Q&A 活動 2 人 1 組になって質問と答えをする。
 - ② 目標の確認 本時の課題「自分が好きな人の魅力を聞いている人たちに伝える。スピーチを聞いて質問したり、発表の感想を発表したりする。」
 - ③ スピーチの発表（小グループ）・スピーチを聞き取る・メモを取る・発表者との Q&A を行う。
 - ④ まとめ 各グループのベストスピーカーによる発表 振り返り

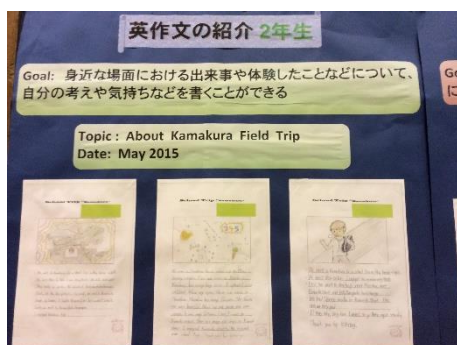


課題・評価の明確な提示



英作文指導の充実

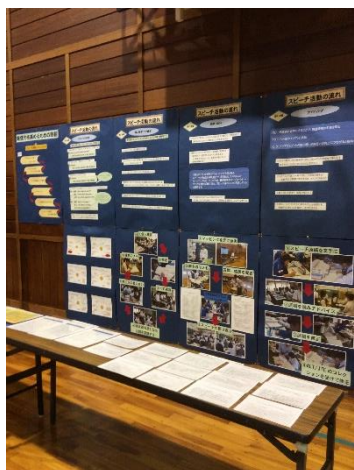
- ・「発信力」＝「自分の考え相手に伝える力」と定義する。
- ・ 2 時間に一度のスピーチ
- ・ 国際教育推進特区指定
- ・ 週 4 時間＋年間 15 時間の授業の拡充



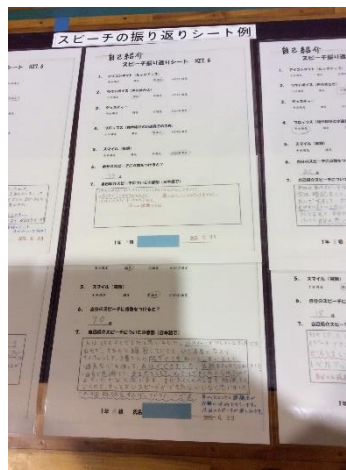
学年に応じた英作文指導



学校行事を英作文で伝える活動



成田山での外国人観光客との関わり



作文ごとの振り返り



小グループでのスピーチ発表

- 県外提案①「書くこと」の効果的な指導～自由英作文指導における添削と書き直しの効果～
埼玉県熊谷市立江南中学校 教諭 野原 孝之先生
 - ・直接的な添削（一つ一つ誤りを訂正する）
 - ・間接的な添削（文法的な誤りに赤ペンで下線を引いたり伝わりにくい内容に？を書き、正しい答えは示さない。）
 - ・書き直しさせる
 - ・書き直しさせない
 考察によると「直接的な添削をし、書き直しさせる。」のグループが最も効果が高く出た。また個々の生徒の添削を限定し間違いの多い部分については全体で共有することが必要となる。
- 県外提案② 生徒の学習意欲の向上や学習習慣の確立を目指して
群馬県富岡市立西中学校 教諭 茂木 弘明先生
 - ・自習学習のキーワードを提示する：中1は英語学習の基本、ノートは「はやく・丁寧に書く」
 - ・成功体験を積む：小テストの工夫、単元テストの工夫
 - ・「英語攻略ノート」の位置づけ：進まない生徒に対してペナルティは課さない、放課後の補充学習

4 感想

本研修中に「千葉県には成田国際空港があるから外国人観光客が多い。英語を苦手なさせてはならない。」という言葉が何度か聞き取れたことが大変印象深い。これも千葉県の英語教師の意識の高さによるものだと感じ、その姿勢は学ぶところが多くあった。目の前の定期テストのためだけに英語を教えるのではなく、英語を話す国の人と「自分の言いたいことを言おう、伝えよう」とする日本人の育成に少しでも貢献していきたいと私自身が強く感じた。また、英作文の添削やその発表の仕方を実際の授業で見ることができ、とても参考になった。教師の働きかけによって生徒の意識が変わるということを改めて認識することもでき、充実した研修にすることができた。